

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2026年1月5日（第1版）

承認番号	25170
課題名	網羅型タンパク質アレイを用いた皮膚筋炎/多発性筋炎・全身性強皮症関連抗体解析の間質性肺疾患における有効性の探索的研究
研究期間	西暦 2026 年 2 月 20 日（実施許可日） ～ 西暦 2027 年 12 月 31 日
研究の対象	2022 年 12 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に、当院呼吸器内科で、皮膚筋炎/多発性筋炎・全身性強皮症関連抗体解析である、A-cube®(エーキューブ)の検査を実施した間質性肺炎(特発性肺線維症、過敏性肺炎、膠原病関連間質性肺炎など)の患者さん
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報（詳細：性別、A-cube 検査時の年齢、喫煙歴、A-cube 検査時のない服薬、臨床診断名、間質性肺炎の重症度、気管支肺泡洗浄・呼吸機能検査・心臓超音波検査・血液検査・胸部 CT 検査の結果、肺の病理所見、A-cube の検査結果 など</p> <p><input type="checkbox"/>手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ）</p> <p><input type="checkbox"/>血液</p> <p><input type="checkbox"/>その他（ ）</p>
利用予定日	開始日：実施許可日から 1 ヶ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	間質性肺疾患は肺に炎症を起こし、次第に線維化が起きて硬くなる事で、酸素の取り込みが悪くなる疾患の総称です。その原因は特発性、薬剤によるもの、アスベストなどの吸入によるもの、アレルギー性のも、特殊な原因もふくめ多岐に渡ります。しかし実際の診療では原因をはっきりと特定できない事も少なくありません。皮膚筋炎や全身性強皮症など、全身の免疫性の疾患である膠原病が原因の場合もあり、その診断には特異的自己抗体が陽性である事が大きなヒントになります。A-cube®は少量の血液から、日本の保険診療で測定できないものも含めた多種類の自己抗体を網羅的かつ迅速に検出できる検査法です。患者さんの負担が少なく実施出来ます。比較的新しい測定方法であり、間質性肺炎の患者さんに対しての大規模な報告は未だありません。当院で実際に A-cube 検査を実施した患者さんのデータをまとめて解析する事で、検査の有用性を確認する事が本研究の目的です。
研究の方法	研究の対象に該当する患者さんの診療録から得られた診療情報をまとめ、統計学的に解析します。
その他	当研究は講座の運営交付金(教員研究費)で実施します。利害関係の特定の企業や団体からの資金援助はありません。上記の事項は旭川医科大学利益相反審査委員会の審査と了承を得ています。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、研究者と企業との利害関係

	<p>について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：  研究責任者  内科学講座 呼吸器・脳神経内科学分野 准教授 佐々木 高明  所在地：北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 〒078-8510  連絡先：TEL 0166-69-3290 FAX 0166-69-3298</p>